

健診結果の見方

健康診査で異常が見つかったときは、医療機関で詳しく検査してもらい治療が必要なのか調べてもらう必要があります。

健康診査の項目	異常値	説明	結果からわかること
---------	-----	----	-----------

身体測定

BMI	BMI値25以上(要注意値)	BMI = 体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m) BMI値は肥満度を調べる指標として役立ちます。	・肥満など
血圧測定	収縮期血圧 130mmHg以上 拡張期血圧 85mmHg以上	数値が高いと血管に負担をかけ、血管を傷めることになり動脈硬化を促進します。 	・高血圧 ・動脈硬化 ・脳卒中 ・心臓病 など

脂質

中性脂肪	150mg/dℓ以上	中性脂肪やLDLコレステロール値が高いと脂質が動脈壁にたまり、動脈硬化を進めます。逆にHDLコレステロール値が低いと動脈壁にたまった脂質が取り除きにくくなります。 	・動脈硬化 ・心疾患 ・脳血管障害 ・胆石 など
HDLコレステロール	40mg/dℓ未満		
LDLコレステロール	120mg/dℓ以上		

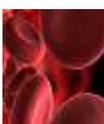
血糖

空腹時血糖	100mg/dℓ以上	血液中のブドウ糖の量を調べます。すい臓の働きが悪いと数値が高くなり糖尿病になります。 	・糖尿病 ・糖尿病の合併症(精神障害・網膜症・腎症)など
HbA1c	5.6%以上		

肝機能

AST(GOT)	31IU/以上	肝臓障害の程度をみる検査として重要で肝臓に障害が起こると値が高くなります。 	・肝炎(急性・慢性・ウイルス性・アルコール性) ・脂肪肝 ・心筋梗塞 など
ALT(GPT)	31IU/以上		
-GT(-GTP)	51IU/以上		

貧血

ヘマトクリット	48%以上 35%以下	体の中に酸素を運び、炭酸ガスを持ち去るのが血液中の赤血球の大切な役目です。その赤血球が少なくなると体内が酸欠状態に陥り、貧血を起こします。 	・各種貧血 ・白血病 ・血液疾患 など
血色素(ヘモグロビン)	12.1g/dℓ以下		
赤血球数	480万/mm ³ 以上 380万/mm ³ 以下		

尿

尿糖	陽性(+)	体に不要なものを尿として排出させる働きをもつ腎臓や、尿の通り道に障害があると陽性反応を示します。	・腎臓病 ・糖尿病 など
尿蛋白	陽性(+)		

判定値は参考値であり、健診機関によって若干異なります。